

北鎌倉女子学園高等学校音楽科

北鎌倉女子学園高等学校音楽科は、1968年に発足した、県内でも数少ない音楽専門課程で、高校生として必要な一般科目を履修しながら、各専攻別個人レッスンや副科レッスン、聴音、新曲視唱、楽典の他、和声学、音楽史、音楽演習、演奏研究、重奏・重唱、合奏・合唱など、数多くの充実した音楽の専門教育を受けることができます。

各分野の専門家を教師陣に迎え、優れた音楽技術と高い芸術性を養うことを目標としています。将来音楽への道を志す生徒にとっては理想的な環境が整っていると言えます。

音楽科の入試は推薦、一般、オープンの種類です(二次募集については別途お調べください)。一般入試、及びオープン入試の課題曲等は下に記載した通りです。尚、定員は本校中学校出身者も含め40名です。また、出願はすべてがインターネット出願となっております。

2019年度 入試要項

1. 推薦入試(専願)受験資格(中1～中3までの実績)

下記①～⑦のいずれかに該当する専攻実技であること		提出書類
①かながわ音楽コンクール	準本選出場者	賞状のコピー
②鎌倉市学生音楽コンクール	本選出場者	
③全日本学生音楽コンクール	各地区本選出場者	
④日本クラシック音楽コンクール	地区本選入賞者	
⑤ピティナ・ピアノ・コンペティション	E級以上の地区本選出場者	出場証明コピー
⑥吹奏楽アンサンブルコンテスト	県大会出場メンバー	賞状のコピーと顧問の証明書(書式自由)
⑦吹奏楽コンクール	県大会金賞受賞メンバー	

※上記募集人員は3名(専願)で、受験生のみに対する面接試験が実施されます。

2. 一般入試(専願、併願)専門科目および専攻別実技課題

下記専攻 A～F は、Gの音楽総合専攻を第二志望として受験することができます。その場合、第二志望専攻の実技専攻別課題試験も受験してください。また、専願者は普通科普通コースを併願することもできます。出願時にその旨を明記してください。

I. 聴音	和音／簡単な和音とその転回の書き取り 旋律／簡単な旋律2題の書き取り
II. 視唱	簡単な旋律による8小節の新曲視唱
III. 楽典	音程、和音、異名同音、楽語、移調、調判定等の内容による筆記試験(過去問題参照)
IV. 専攻別実技課題(専攻により課題が違いますので十分に注意してください)	
A ピアノ専攻	1. ツェルニー40番、ツェルニー50番、モシュコフスキー15の練習曲 ショパン練習曲作品10、ショパン練習曲作品25 *上記5つの曲集のうちより任意の1曲 2. Haydn、Mozart、Beethoven、Schubert、Schumann、Brahms、Chopin、Liszt の作品より任意の1曲 (ソナタの場合、緩徐楽章を除く一つの楽章)
B 声楽専攻	1. コンコーネ50番のNo.1～No.25より任意の1曲を 母音(ア)または子音付き母音(ウ)で歌う 2. 次の a. または b. より1曲を選択して歌う a. イタリア古典歌曲集1巻より任意の1曲 b. 花の街、赤とんぼ、早春賦、浜辺の歌、荒城の月 (日本名歌110曲集1巻、2巻より) 3. ピアノ課題 ソナチネ程度以上の任意の1曲 (ソナチネ・ソナタの場合、緩徐楽章を除く一つの楽章) ※上記、1. 2. の声楽曲集は、すべて全音出版社版を使用

※裏面に続く

C 弦楽器専攻	1. モーツァルトの協奏曲程度以上の任意の1曲 2. ピアノ課題 ソナチネ程度以上の任意の1曲 (ソナチネ・ソナタの場合、緩徐楽章を除く一つの楽章)
D 管楽器専攻	1. 既習の曲から任意の1曲(練習曲可) 2. ピアノ課題 ソナチネ程度以上の任意の1曲 (ソナチネ・ソナタの場合、緩徐楽章を除く一つの楽章)
E 打楽器専攻	1. 小太鼓、またはマリリンバによる任意の1曲 2. ピアノ課題 ソナチネ程度以上の任意の1曲 (ソナチネ・ソナタの場合、緩徐楽章を除く一つの楽章)
F 作曲専攻	1. 当日、与えられたテーマをもとに作曲 2. 事前に創作した曲の譜面を当日提出(創作曲の演奏をCD-Rに録音したものを併せて提出してもよい) 3. ピアノ課題 ソナタ程度以上の任意の1曲 (ソナタの場合、緩徐楽章を除く一つの楽章)
G 音楽総合専攻	ピアノ(A)は必修とし、下記の組合せの中から一つを選ぶ A+B A+C A+D A+E A+F の組合せのみ可 (上記以外の組合せ、例えばB+CやE+Fなどは不可) 【課題曲】 A ピアノ:ソナチネ程度以上の任意の1曲 (ソナチネ・ソナタの場合、緩徐楽章を除く一つの楽章) (A~Fの専攻志望者が音楽総合を第二志望にする場合本課題免除) B 声楽:声楽専攻課題曲2. より任意の1曲 (B声楽専攻志望者が音楽総合を第二志望にする場合本課題免除) C } D } 弦・管・打楽器:任意の1曲 E } (C D E弦・管・打楽器専攻志望者が音楽総合を第二志望にする場合本課題免除) F 作曲:当日、与えられたテーマをもとに作曲 事前に創作した曲の譜面を当日提出(創作曲の演奏をCD-Rに録音したものを併せて提出してもよい) (F作曲専攻志望者が音楽総合を第二志望にする場合本課題免除) ※入学後、高1後期実技試験で所定の転科試験を受け、高2より希望するA~Fいずれかの専攻に転科する

【注意事項】

1. 音楽総合専攻を第二志望にする場合、及び普通科普通コースを併願する場合は、出願時に必ずその旨を明記してください。
2. 弦楽器、管楽器、打楽器の試験は、原則として無伴奏とします。
3. 一般入試では、上記専門科目の他に、国語・数学・英語の学科試験と受験生のみに対する面接試験を実施します。
4. すべての実技試験は(視唱除く)、特別な場合を除き、繰り返しを省略して暗譜で演奏してください。
5. 演奏順は、ピアノ「練習曲→自由曲」声楽「コンコーネ→自由曲→副科ピアノ」各楽器「専攻実技の曲→副科ピアノ」の順で演奏してください。

3. オープン入試 (受験日時、及び受験科目は一般入試とすべて同じです)

出身中学校の調査書成績に一切関係なく、一般入試と同日時、同一問題(国語、数学、英語、聴音、視唱、楽典、実技、面接)で受験していただき、その成績結果のみにより合否を判定します。

専攻については上記一般入試と同じ A~F(G音楽総合を除く)専攻のうち一つとし、本校の推薦入試、一般入試、及び普通科との併願はできません。

尚、詳細につきましては直接音楽科にお問い合わせください。(Tel. 0467-22-6900)